

## 私を変えた先生との出会い

私を変えてくれた先生は、小学校4年生の時の少人数教室の先生です。その先生は、小学6年生では、私のクラスの担任の先生にもなりました。先生は、常に私たち児童のことを考え、褒めたり叱ったりしてくださり、厳しくありながら、愛情いっぱい私たちと接してくださる素晴らしい先生でした。

そんな先生が私を変えてくださいました。4年生の頃の算数の授業の時のことです。それまで私は、算数は得意な方で、「できない。」「分からない。」と思うことがほとんどありませんでした。しかし、割り算の筆算で私は躓きました。周りの友だちは、練習問題もどんどん解いて進んでいきます。一方で、私は何もできず、皆から取り残され、「どうしよう、どうしよう。私は人よりも勉強できないのかな。」と自信をなくし、焦るばかりでした。そして、最終的に泣き出してしまいました。

授業が終わり、皆が教室に帰った後、まだ泣いている私の横の椅子に先生が座りました。休み時間であるにも関わらず、もう一度、今日習った内容を私に教えてくださいました。そして、「琴音さんは、やればできる子。あなたにできないはずがない。必ずできるようになるから、頑張ろう。」と言って、私を教室から送り出してくださいました。私は、「先生にこんな言葉をもらっておいて、簡単に諦めてはならない。」と、その日の夜、家で母と何問も練習しました。すると、すらすらと解けるようになり、次の日の授業からは、皆と同じペースで授業についていけるようになりました。それを見て、先生は、「さすが琴音さん。素晴らしい。」と褒めてくださり、私は、その言葉が嬉しくてたまりませんでした。

この時から私は、たとえ躓くことがあっても「やればできる。」という言葉を実に自分に言い聞かせ、何事にも取り組むようになりました。

先生のおかげで諦めずに頑張ることの大切さを知り、「私も子どもに自信を付けさせてあげられるこんな先生になりたい。」と思うようになりました。

山崎 琴音  
(大学生)